

議案第20号 令和4年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算

**反対**

平 敏子 議員

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者のみを対象とした世界に例を見ない制度です。75歳以上は病気やケガをすることが多く複数の医療機関にかかり、治療が長期化します。一方、公的年金は10年間で6.8%下がり、医療・介護、消費税、最近では灯油の高騰、食品の価格上昇など生活が厳しさを増しています。このような中、10月から一定程度の所得のある市内約1,800人の医療費が、1割から2割に引き上げる予算となっていることから反対します。

請願第1号 消費税のインボイス制度の実施見送りを求める請願

**反対**

小林 均 議員

令和元年10月の消費税改正時に食料品等の軽減税率が導入され、令和5年10月よりインボイス制度が施行されることになった。この制度のメリットは①消費税率と税額の正確性の維持②仕入税額控除や経理業務における不正やミスの減少③益税を抑制して消費税納税の公平性の確保の3点がある。免税事業者が取引から排除される懸念については6年間の経過措置が設けられた。公益法人の安定的な事業運営への支援を求め、反対討論とする。

**賛成**

斎藤 広二 議員

来年10月から小規模事業者やフリーランス等約1,000万人の免税事業者に消費税納税を迫り、コロナで苦境に立つ事業者を追い詰めるもの。商工会議所、中小企業団体、税理士会などから見直しを求める声が上がっている。シルバーセンターの会員も納税義務者になり、売上げ1,000万円以下の農家も納税することに。2020年の企業の休廃業は5万件と過去最大となった。今こそ5%の消費税減税と大企業、富裕層への増税が必要だから賛成する。

請願第3号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願書

**反対**

佐藤 運喜 議員

農地面積が限られている我が国を取り巻く背景とその課題の中で食糧自給率の安定向上、水田の有効活用が求められている。近年増加傾向の飼料用米や加工用米などの多様な米の生産振興、さらには、小麦、大豆、子実用トウモロコシ等の海外依存品目について本作化の取り組みが急務である。今後は以上のような高収益作物等に転作した場合の助成制度を手厚くするなど農地と交付金においても、選択と集中が必要であると思われることから反対する。

**賛成**

菅野 明 議員

政府は22年度から水田活用交付金を、今後5年間1回も水張りをせず水稲の作付けをしない農地は交付対象にしないとの方針。例えば、多年生作物の牧草生産者に10アール3万5千円交付してきたが、22年度からは種まきしない年は1万円に減額する。本市の21年度交付実績は市水田面積の約1割328ヘクタール、金額で3,720万円。今国がやるべきは予算を増やし日本の地域農業と米作りを守ることであり、交付金の見直し中止に賛成する。

3月定例会賛否一覽

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議			真誠会			市政会			日本共産党 二本松市議団		令和 創生の会		会派に 所属 しない 議員		賛 成	反 対				
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	斎藤 徹	平栗 征雄	佐藤 源市	平塚 與志一	佐久間 好夫	佐藤 和広	坂本 新一	堀籠 政保	安齋 利美	熊田 義春	斎藤 広二	菅野 明			平 敏子	本多 俊昭	小林 均	石井 馨
議案第18号	令和4年度二本松市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	18	3		
議案第20号	令和4年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	18	3
議員提出 議案第2号	消費税のインボイス制度の実施見送りを求める意見書の提出について	原案可決	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	10
請願第1号	消費税のインボイス制度の実施見送りを求める請願	採 択	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	10
請願第3号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願書	不採択	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	13

※○=賛成 ●=反対 退=退席 討=討論がなされた案件 ※議長(本多勝実)は採決には加わっていません。